

## いのちや地球環境に配慮した脱原発社会に向けた共同宣言

2011年の日本の福島第一原子力発電所事故により、約90万テラベクレル（テラ=1兆）にも及ぶ放射性物質（希ガス、ヨウ素、セシウム等の合計）が、大気はもちろん海にも大量に拡散し、世界中に広がりました。人類はチェルノブイリ原発事故、スリーマイル原発事故を経験していながらアジアでも大きな原発の惨事を起こしてしまいました。

原子力発電は原子力の平和利用という名目のもとに、先端エネルギー技術産業として各国が競って開発してきました。しかし「福島の事故」という大きすぎる対価を払ってはじめて人間の科学技術では核を制御することはできないことを確実に証明したと思います。原子力発電所から排出される核廃棄物を安全に処分する見通しもないまま、原子力発電を継続することは、未来の子供たちに負の遺産を残すことに他なりません。

私たちは福島の経験をふまえ、韓国女性民友会生協、台湾主婦連盟生協、日本生活クラブ生協の三者が女性と市民の連帯を広げ、これ以上原発の事故を起こさないようアジアに脱原発の運動を広げていくことを宣言します。

### 1. 原子力発電に反対し脱原発社会をめざして、運動を広げていきます。

人類は原子力の開発によって自然界に存在しない放射性物質を生み出してしまいました。放射線はいのちに多大な影響をもたらす、環境を破壊します。私たちは海を越えて、原子力による被害者にも加害者にもならぬよう、脱原発を語り運動を広げていきます。

### 2. 風力や太陽光、バイオマス、小水力発電など再生可能エネルギーに取り組めます。

電気を文明のエネルギーとして享受している現代社会において、未来に放射性廃棄物という負の遺産を残さないために、持続可能な再生可能エネルギーの創出に取り組めます。

### 3. 低エネルギー社会づくりをすすめます。

もう一方で、化石資源の枯渇や環境破壊を食い止めるため、低エネルギー社会に向けて社会におけるエネルギー削減の実践に取り組めます。

以上

2012年10月25日

日本 生活クラブ連合会女性委員会

韓国 女性民友会生協連合会

台湾 主婦連盟生活消費合作社

猪狩 裕子  
김민순  
黃淑德